

World Symposium

2023年2月21日~26日



POMPE病患者会として2023年World Symposiumに参加する事により2020年にお会いしたアメリカ、イギリス、ドイツ、スペインの方と再会する事ができました。

2020年のWorld SymposiumにおきましてはPOMPE病の講演、ポスターセッションは非常に少なく、今回については研究が進んでいるのか期待をしての参加でした。

今回のWorld Symposiumは期間中1日2000人超えの参加者、朝6時からのセッション、Pompeについて先生方と研究者、製薬企業の発表が72件、ポスターセッションが59件（発表との重複あり）と2020年に比較して研究について増えている事は実感出来たが、患者が手にするまでには数年単位と感じました。前回同様にファブリ、MPS、ゴーシェが多く患者数の多いところへの研究は否めないところです。

ポスターセッションはペーパーではなく全てがデジタル化となっていました。また講演等についてもアドレス・パスワードでの案内がありスマホ、PCが必須でした。

ポンペ病患者会としてアミカス・セラピューティクス（株）との面談も行う事ができました。

日本から衛藤先生、奥山先生、酒井先生、成田先生、中村先生、他先生方も参加されていました。

患者会としてはムコ多糖症患者会名誉会長の秋山さんと2人の参加でしたがとても心強く、また日本ライソゾーム病患者家族会協議会からのご支援を頂きました事感謝申し上げます。

